

棚底地区振興会報 アイラトピカスラ

町民総幸福量の

まちづくり講座

倉岳地区公民館

本年度第1回目の倉岳地区公民館 町民総幸福量のまちづくり講座が7月19日(日)棚底コミセン集会所で開催された。

今回は、元熊本県立済々黷高校長で前島子保育園長の川上清司先生が「笑いと涙のこぼれ話」と題してこれまで携わってこられた教育経験をもとに様々な事例を交えてお話された。

「笑いと涙のこぼれ話」

特に童謡の「赤とんぼ」と「じゃぼん玉」の歌詞に三木露風と野口雨情両作者の生い立ちや早世した長女への思いが歌詞に秘められている話やディズニールランドでの22歳アルバートの青年がランチの注文に取った粋な計らいに感銘した。また、子ども教育では、カブトムシを玩具でしか見たことがない、落花生が木になっている、卵の花(おから)を花屋さんに買いに行くという嘘のような本当の話に驚いた。

「目からうろこ」の笑いあり涙ありの素晴らしい講演だった。



教育経験をもとに「笑いと涙のこぼれ話」を講演される川上先生



棚底地区振興会

倉岳町棚底1786-4
棚底地区
コミュニティセンター
Tel.64-3664
fax63-7544

棚底のちよっとした話

11

縄文時代の棚底 ・ ・ ・ その二(石鏃)

前回に引き続き縄文時代の話ですが、代表的な遺物として石鏃(せきぞく)があります。いわゆる矢じりです。弓の発明は、それこそ現代的な機械類の発明と等しい程の画期的なもので、狩りの方法が著しく進歩したことでしょう。黒曜石、チャート、サヌカイトなどが石材ですが、製作過程で出る破片が棚底のあちこちに散在しています。観音寺周辺、倉岳体育館付近、塔尾台地などが顕著です。破片の中から完成品や欠損品を見出すことがありますが、この歳になってもワクワクドキドキする瞬間です。破片があることは、棚底の縄文人が原石を仕入れてせっせと矢じりを作っていたことが分かります。黒曜石は、伊万里の腰岳、大分の姫島、佐世保の東浜付近から運ばれてきたようです。棚底からは唯一黒曜石の原石を小嶋から発見しています。子供の拳ぐらいの大きさですが、腰岳産のものと思われ、当時の流通過程は全く不明ですが、どのような経緯で棚底に持たされたものか気になるところです。

産地に近い大分や伊万里付近



▲ 棚底採集の矢じり=中央の矢じりが長さ約1センチです。

三区 歳川 喜三生

では、材料が豊富なためか、やたらと大きな矢じりが目立ちます。それに比べて天草のものは小さく、中には1cmにも満たないものがあり、どうやって装着したのか、はたまたこれで獲物が獲れたのか不思議に思える物もあります。材料として希少価値があったことが想像されます。十分な道具がない時代に硬い石材を加工する技術には驚かされます。矢じりを触ってみるとはるか数千年前の縄文人の息吹が伝わってくるようです。

因みに当時の日本には竹はありませんので、たまに発掘される弓は木で作られています。弥生時代になると鉄製の矢じりが誕生します。宮崎石棺墓からは鉄製矢じりが数点発見されています。

～整備管理用道路設計・石積調査始まる～



【石積に番号をつけて記録します】

棚底城跡の整備やその後の管理に必要な道路の設計を発注し、現在は現地の測量調査を実施しています。測量業者は有明測量開発社で、測量の際は腕章をはめて作業しています。

また、今月からは昨年に引き続き、城跡内の石積の調査を行います。戦国時代につくられたものなのか、それとも畑として開墾する時につくられたものなのかを判断するための調査です。11月末まで調査を行う予定でありますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

なお、今回は発掘調査は行いません。

(天草市文化課 宮崎)

災害に向き合う覚悟と備えが大切!

今年の梅雨は、例年になく長雨が続き、日本全国広範囲に亘って甚大な被害をもたらしました。特に7月4日から12日にかけて、大雨特別警報が熊本、鹿児島を始め、九州北部3県(福岡、佐賀、長崎)と岐阜、長野両県に3回も発令される異常気象でした。いずれも線状降水帯と言われる現象で、今や数十年に一度という表現は、実態に合わないくらい頻繁に聞かれるようになりました。中でも熊本県内を襲った7月4日の豪雨は、日本3大急流の一つ、球磨川が広範囲で氾濫。人吉市、球磨村、芦北町など県南部の各地で土砂崩れや、家屋の倒壊、浸水被害が相次ぎました。また、一連の豪雨によって65人という多くの方が犠牲となられ、このうち65歳以上の高齢者が55人、85%を占めました。改めて「災害弱者」といわれる人たちの命を守るための避難対策が課題として浮き彫りになりました。

今回のような集中豪雨を決して「他山の石」ととらえず、地球温暖化により、どこの地域でも起こり得る自然災害であることを認識し、災害に向き合う覚悟と備えが大切だと痛感しました。

「新生活様式」とは！

新型コロナウイルス感染防止の4つの基本である

- ①身体的距離の確保
 - ②マスクの着用
 - ③手洗いの実施
 - ④3密(密集、密接、密閉)の回避
- などを取り入れた日常生活のことです

感染防止と予防のポイント

熱中症予防×コロナ感染防止

マスク着用により、熱中症のリスクが高まります。熱中症を防ぐために屋外で人と2m以上(十分な距離)離れている時マスクを外しましょう。マスク着用時は

- ①激しい運動を避けましょう
- ②こまめに水分補給をしましょう
- ③気温・湿度が高いときは特に注意

今月の人口

高齢化率 49.07%

人口動静

	世帯数		人口	
	5月末	6月末	5月末	6月末
浦	281	279(-2)	650	649(-1)
棚底	487	486(-1)	1,086	1,086(0)
宮田	445	443(-2)	963	957(-6)
合計	1,213	1,208(-5)	2,699	2,692(-7)

事業中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で下記の事業は中止となりました。お楽しみにされていた皆さまには大変申し訳ありませんがご理解ください。

8月14日(日)棚底地区盆踊り

9月13日(日)棚底地区敬老会

9月27日(日)棚底地区スポーツ大会

(コロナのため変更になる場合あり)